

# 1 宮城の水産業の特徴

宮城県は、全国屈指の水産県です。本県の沿岸地域は、県の中央部に突出した牡鹿半島を境に、北は複雑な屈曲を有するリアス式海岸、南は平坦な砂浜海岸が仙台湾を形成するなど地形的な変化に富んでおり、ノリ、カキ、ワカメ、ホヤ、ホタテ、ギンザケなどの養殖業やサケ、タラ、カレイなどを対象とした刺網漁業、小型底びき網漁業などの漁船漁業が盛んです。

一方で、本県沖合は親潮と黒潮がぶつかる生産性の高い海域であり、金華山・三陸沖漁場は世界3大漁場としても有名です。

また、本県には142の漁港と9か所の水産物産地卸売市場があり、気仙沼、志津川、石巻、女川、塩釜は、沿岸・沖合・遠洋漁業などの漁船漁業の基地であるとともに、魚市場などの流通機能や水産加工業が集積する水産都市となっています。



- ①宮城県水産技術総合センター（本所）
- ②宮城県水産技術総合センター  
気仙沼水産試験場
- ③宮城県水産技術総合センター  
内水面水産試験場
- ④宮城県水産技術総合センター水産加工開発部  
水産加工公開実験棟
- ⑤宮城県水産技術総合センター養殖生産部  
種苗生産施設